

業務説明会

【一般職・技術系】

農林水産省

目 次

1. 農林水産省とは

農林水産省行政のフィールド・流れ

2. 課題と政策例

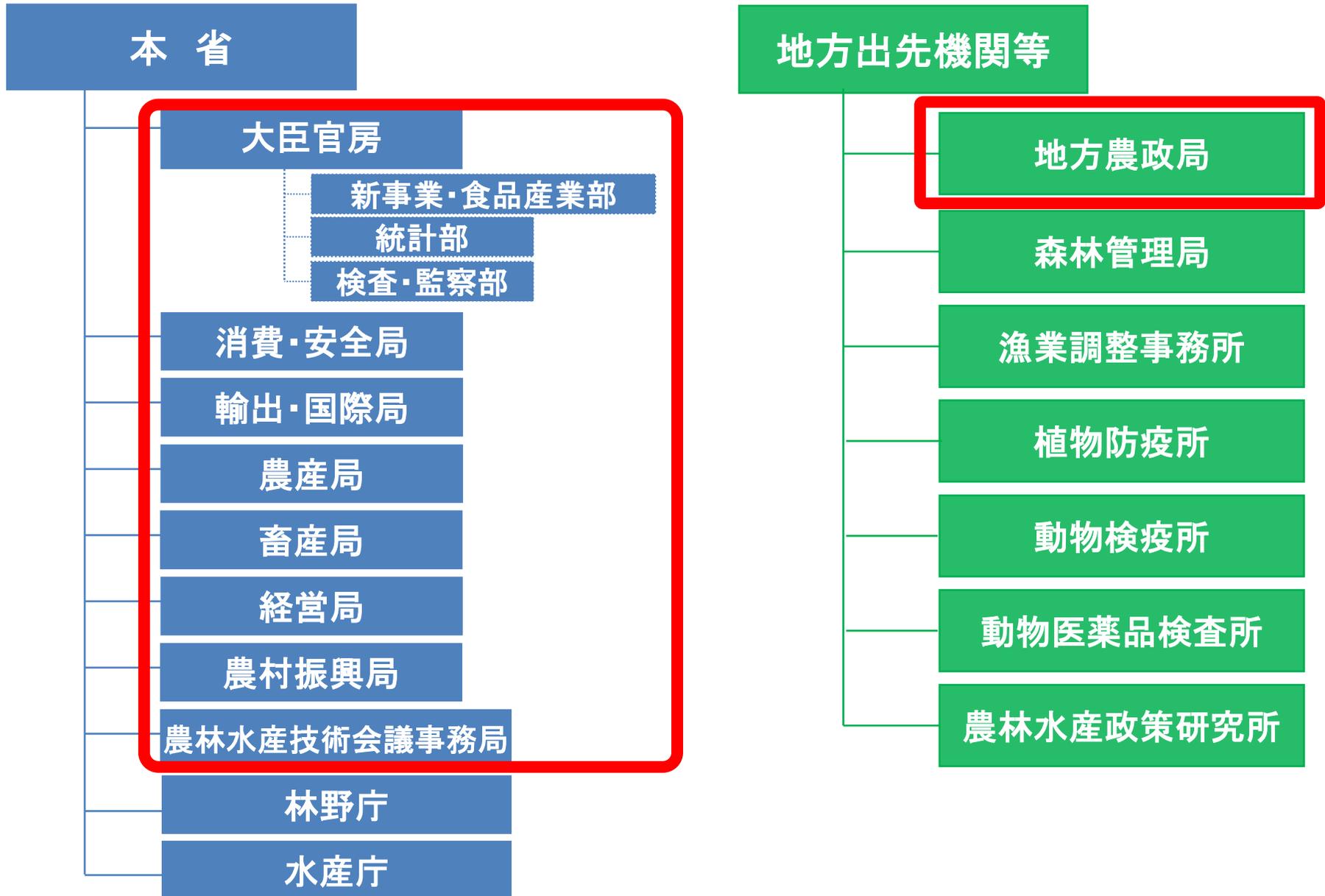
課題と政策例～みどりの食料システム戦略～

3. 一般職農業技術系職員について

4. 人材育成と両立支援制度

1. 農林水産省とは

農林水産省の組織



農林水産行政の流れ

「食」や「農」を取り巻く様々な課題をどうすれば解消できるのか？
農業の成長産業化のため、どのような仕掛けが必要か？

政策の企画・立案(主に本省)

- ・課題の設定
- ・基本的な方針の作成

- ・政策手法の検討
(法令、事業等)

- ・政府内、外部との調整
- ・法令作成、予算の確保

政策の実行(主に地方農政局)

- ・政策の現場への周知
- ・法令、事業等の執行
(交付、検査等)

- ・政策情報の収集
- ・現場の問題点の把握

大臣官房の仕事

～指針を示す・現場の今を知る・食品産業を支える～

- 基本的な政策ビジョンの策定
- 法令審査
- 予算編成
- 国会との連絡調整
- 広報活動
- DX
- 食料安全保障・環境政策・災害対策等の総合調整
- 統計調査(農政を支える情報インフラ)
- 価値をつなぐ食品流通の構築(ブランド化、6次産業化等)

国会との連絡調整



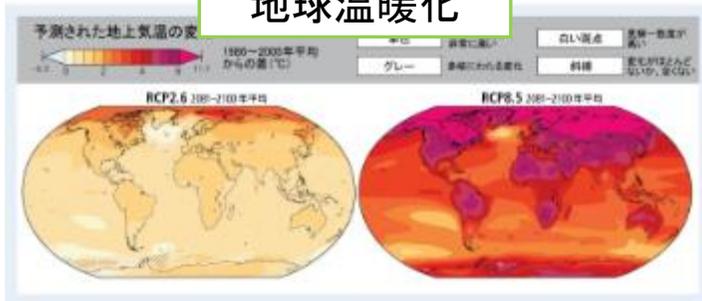
広報



価値をつなぐ食品流通



地球温暖化



JZMAFF
ばすまふ

消費・安全局の仕事 ～食の安全を守る～

- 食品の安全性向上
- 植物・動物防疫対策
- 食品表示の適正化
- 食育

食品の安全性向上



植物・動物防疫



Codex委員会



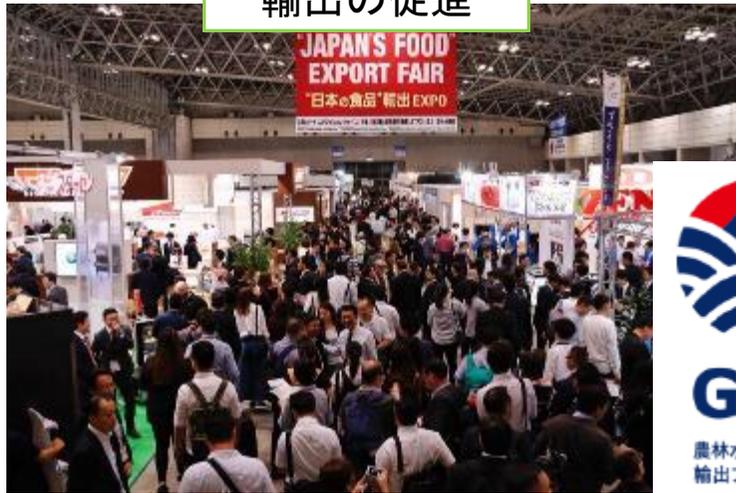
食育の推進



輸出・国際局の仕事 ～食のマーケットを拡げる～

- 農産物等の輸出拡大
- 食文化の発信
- 知財の保護・活用、規格・認証(JAS、HACCP)の戦略的活用
- 二国間経済外交等による輸出入環境整備
- 海外開発協力

輸出の促進



経済外交



知的財産の保護・活用



食文化の発信



農産局の仕事 ～生産現場を支える（農産物）～

- 農産物の生産の振興
- 農業技術の普及
- 良質・低廉な農業生産資材（機械・肥料等）の供給と効率利用
- 環境保全型農業の推進
- GAP（農業生産工程管理）の普及

GAPの普及



農産物の生産振興



農業技術
の普及



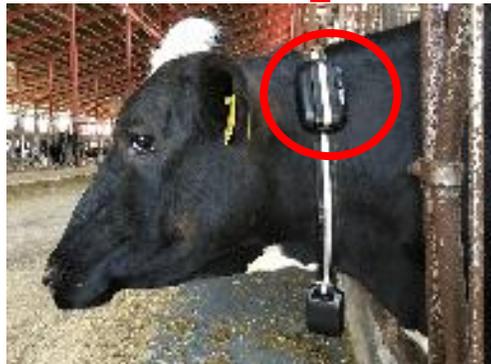
畜産局の仕事 ～生産現場を支える（畜産物）～

- 畜産物の生産の振興
- 生産技術の普及
- 環境問題（家畜の糞尿など）の改善
- GAP（農業生産工程管理）の普及
- 飼料供給の確保
- 競馬の運営の指導監督

技術の普及



発情を自動で通知



畜産物の生産振興



競馬



経営局の仕事 ～次世代を育てる～

- 新規就農対策
- 担い手への農地集積・集約化
- 担い手に対する金融・税制支援
- 収入保険
- 農業共済

新規就農対策
(後継者育成)



担い手育成(女性農業者
の活躍推進)



収入保険



新規就農対策
(農業教育)



農地の集積・集約化



農業共済



農村振興局の仕事 ～地域の潜在力を引き出す～

- 農業の生産基盤(用水・農地)の整備・保全による生産性の向上
- 鳥獣被害防止対策・ジビエ利用の拡大
- 地域の資源を活用した農山漁村の活性化(農泊、農業遺産等)

河川からの取水施設
(頭首工)

畑地かんがい
(スプリンクラー)

鳥獣被害の防止

農泊



農地の整備(大区画ほ場)

ジビエ利用の拡大

農業遺産

生産基盤の整備・保全による生産性向上

鳥獣対策

地域資源活用による農山漁村の活性化

農林水産技術会議事務局の仕事 ～革新を生み出す～

- 農林水産業に関する試験研究の基本的な計画の策定
- スマート農業（AI・IoT、ロボット等）の活用に向けた研究・実証
- 新品種・新素材、品質保持技術等の開発
- 産学官連携

センサー/ICTの活用



ドローンを活用した栽培管理



食味に優れたブドウの
新品種の開発



自動走行トラクター



自動収穫ロボット



高温耐性を有する
米の新品種の開発

